

京都大

中西嘉宏教授

(ミャンマー政治)



紛争のために
選挙を実施でき
ない地域も多
く、参加できる

政党も限られている。平和をつくる選挙ではなく、軍が自分たちの統治を地固めするためのものだ。軍系政党が勝つように設計されている選挙であるため、市民の関心も信頼も低い。

選挙後は3月までに議会が招集されて大統領が選出され

軍統治の地固め目的

る。国軍トップのミン・アウン・フライン最高司令官が大統領になる可能性が高く、5年ぶりに議会が開かれても体制は大きく変わらないだろう。国軍と民主派などとの戦闘は各地で今後も続く。

国際社会の対応については、日本を含む自由主義圏の国々は選挙後も変わらず、「新政権」と距離をとることになりそうだ。他方で国軍と親しい中国、ロシアとの関係はますます深まるものとみられる。国内情勢が落ち着かない限り、経済発展も見込めない。市民にとって苦しい生活は続